

## 再会！国宝「ビーナス土偶」

理事 松 岳 俊 一（岩槻区）

八ヶ岳連峰の主峰・赤岳を下山してくると、柳川南沢のせせらぎを覆う木々が赤に、黄に、黄土色にと紅葉し、太陽と青空とを背景として素晴らしい景観を呈してくれていました。お蔭で、重かった足取りも俄かに元気回復。

その勢いで「尖石（とがりいし）縄文館」に回ってみようということになりました。

入館して間もなく、なんと「国宝 土偶 ビーナス」像が展示されているではありませんか。

「貴女は、こんな所（失礼）に、いらしたのですか！」

私たちは、まさか、まさか「国宝 土偶 ビーナス」像が「尖石縄文館」に展示されているとは、夢にすら思っていなかったのです。

実は、彼女とのご対面は、これで二度目です。初めは、上野の国立博物館の「大英博物館帰国記念 国宝 土偶展」でした。全国各地から1万8千点を超えて出土している土偶の中から、（当時は）たった3点だけ『国宝』に指定されたものの一つでした。

でも、ビーナスと名付けられてはいるものの「ミロのビーナス」像とは、似ても似つかない容姿だったのです。豊満なトルソーの曲線美には、異議はないのですが……。やたらに大きな被り物を載せて、キツネ目、団子鼻、ポカンと開いた口といった顔の造作、小さな胸、胎児を孕んで突き出た腹、出っ尻と太い脚等々。

確かに完全体として出土したのですから、それなりの価値はあるのですが……。

国立博物館での初対面の時の印象は「ふーん、これが『国宝 土偶 ビーナス』像というものが。他の二体（合掌土偶・中空土偶）も含め「国宝の土偶たち」という知識を得たというところに意味はあったのですが……。何か釈然としないものが心の中に澱んでいたのです。

ところが、ところがです。縄文館に展示されている「土偶 ビーナス」像は、周りに配置されている仮面土偶をはじめとした土偶群、大胆な文様をあしらった土器類等の生活用品、黒曜石等で作られた石鏃などの狩猟用具の中に配置されると、俄然、その存在価値を発揮してくるのです。全ての展示物を配下に従え、それらを睥睨しているかのようにみえます。将に、「女神」そのものです。全身からなにやら妖しい光を放っているようにさえ見えてきます。

そうか！「ビーナス＝美人」ではなく、どこまでも広がる蒼穹と清新な空気と豊かな緑の地で生活していた「縄文人たち」にとっての「ビーナス＝女神」そのものだったのです。

国立博物館のイベントとして展示されたものから得た生半可な知識としての「土偶 ビーナス像」と八ヶ岳山麓の地に置かれ、出土した遺物群の中で光彩陸離を放っている「土偶 ビーナス像」は、まったく同じ土偶であっても、その意味がまるで違うものとなりました。

私にとっては、博物館で大層な価値をもった遺物を、押すな押すなの参観者の中で鑑賞することも、それなりに意義あることだったのですが、それと併せて、縄文館でのゆったりとした時間と、空間と、静謐さの中で、関心のある遺物に心を遊ばせながら、対話し、謎解きをする楽しさを味わうことができたのです。そんな素敵なことを学ばせてもらった嬉しさを胸に、紅葉半ばの町中を通り抜け、茅野駅へと向かったのです。



## 友の会とびっくす

1.今後の友の会・博物館のイベント (博物館 048-645-8171 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219)

◎10月12日(土)～11月24日(日) 博物館特別展「狩野派と橋本雅邦」

◎10月19日(土) 友の会見学会「秋の古河・久喜を訪ねる」 既報・満席になり、締切ました

◎10月19日(土) 博物館歴史民俗講座「狩野派と橋本雅邦」 電話受付中 博物館へ

講師 当館学芸員 浦木賢治氏 2時～3時半 当館講堂

◎10月26日(土) 友の会・日本の祭り研究クラブ 「入間万燈まつり」見学会

このニュース別ページ参照

◎10月27日(日) 博物館特別展関連講演会「木挽町狩野家をめぐって」 往復ハガキで博物館へ

講師 岡崎市美術博物館館長 榊原 悟氏 2時～3時半 当館講堂

◎11月2日(土) 友の会講演会「岩佐又兵衛・浮世絵始祖説の再検討」 **申込み受付・開始**

講師 前・板橋区立美術館長 安村敏信氏 1時半～3時 当館講堂

◎11月7日(木) 友の会講演会「平将門の乱とその後」 **申込み受付・開始**

講師 歴史研究家・文芸評論家 染谷 洵氏 1時半～3時 当館講堂

◎11月9日(土) 博物館特別展関連講演会「橋本雅邦の脱狩野派～「日本画」の誕生」

講師 東京芸術大学大学美術館准教授 古田 亮氏 2時～3時半 当館講堂

◎11月16日(土) 友の会見学会「白鳥の飛来する平将門の郷へ、いざ」 **申込み受付・開始**

このニュース別ページ参照

◎11月30日(土) 友の会古道探索クラブ 「向寒の鎌倉街道・中道を歩く」

このニュース別ページ参照

◎12月1日(日) 友の会講演会「知らなかった『富士講』の謎と埼玉」 ※

講師 富士信仰研究会 中島信彰氏 1時半～3時 当館講堂

※は、まだ申込み受付をしておりません

2みんなの友の会、あなたのサポートを！！

いま、ご協力いただける方々(サポーターさん)を2グループに分け、隔月ごとにご協力をいただいています。たとえば、会報の発送、ご入会などの受付(土日祝)～などです。ご無理を避けて、分担していただけるよう、ローテーションを組んでいます。ご協力のお申込み、ご質問は、土日祝に友の会受付へ。

川越・仙波東照宮・三十六歌仙扁額の筆者

# 岩佐又兵衛

## 浮世絵始祖説の再検討

講師 安村敏信先生 <前・板橋区立美術館館長>

博物館で見る機会もある「仙波東照宮・三十六歌仙扁額」の筆者・岩佐又兵衛が、江戸時代の日本の絵画を代表する<浮世絵>の始祖であったという説があります。

この<始祖説>…、浮かび、否定され、そしてまた浮かび…。その結論を、先生にお話いただくという講演会です。埼玉県民としては、聞き逃せないお話です。

また、この「三十六歌仙扁額」（重要文化財）は、又兵衛の単なる一作品ではなく、又兵衛が妻子を残し、福井から江戸に出て、すぐに制作された、記念すべきものであることを覚えて再度、じっくりと見るきっかけを作っていただくとするものでもあります。

日時 平成25年11月2日（土）

午後1時30分～3時

場所 当・博物館講堂

（東武野田線・大宮公園駅・徒歩5分）

### ご参加無料

◎ご参加のお申込みは、往復ハガキに住所・氏名・電話番号・会員の方は会員番号・イベント名・（返信面にご自分のあて先を）を明記、10月28日（月）必着で〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。定員（150）を超えた場合はお断りすることがあります。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

# 平将門の乱と、その影響

講師 染谷 冽先生（歴史研究家・文芸評論家）

日時 平成25年11月7日（木）午後1時半～3時

場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館・講堂

＜東武野田線・大宮公園駅・下車5分＞

天慶3年（940年）2月、平将門が藤原秀郷と平貞盛との連合軍の流れ矢にあたって、38歳で陣没して、1070年ほどが経ちました。

首塚伝説も含めて、今なお、人々の信仰を集める将門。

その将門の生立ち。乱の原因と経過。将門信仰が続く理由。そして、将門の乱が後世に与えた影響などを、お話いただきます。

ちなみに、染谷先生は茨城県、旧岩井市のお生まれです。

◎ご参加のお申込みは、往復ハガキに住所・氏名・電話番号・会員の方は会員番号・イベント名・（返信面にご自分のあて先を）を明記、11月1日（金）必着で〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。定員（150）を超えた場合は、お断りすることがあります。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

# 白鳥の飛来する平将門の郷へ、いざ！

今年は、あの将門が生まれて1,111年目の年。将門終焉の地、茨城県坂東市に将門ゆかりの史跡と、特別展「平将門伝説」を見学します。そのあと、小田原北条氏の最北端の出城・逆井（さかさい）城公園、菅生沼に飛来の白鳥も見学する、この季節限定のリッチなツアーです。

## 主な見学先

- 国王神社・延命寺の山門・石井（いわい）の営所跡・延命院の将門首塚・  
白鳥飛来の菅生沼
- 坂東市立猿島資料館（特別展「平将門伝説」開催中）
- 茨城県指定史跡・逆井城公園（二重櫓・井楼矢倉・主殿などが復元）

日 時	平成 25 年 11 月 16 日（土）
集 合	午前 8 時（時間厳守ください） JR 大宮駅西口・大宮ソニックビル西側
参加費	6,000 円（ご昼食は寿司・野菜天ぷらなど）
＜大宮帰着・6時半の予定＞	

## ご参加のお申込みは～

☆10月31日（木）必着

☆往復ハガキに住所・氏名・会員番号・電話番号を明記、〒330-0841

さいたま市大宮区東町 2-4 金子清敏へ

☆定員 45 名（満席次第締切） ☆会員限定ですが、ご家族、お友達をご参加いただけます

☆座席についてのご希望、集合場所地図のご希望はハガキにお書き添えください

☆当日緊急連絡先 090-7170-3294 岩井隆興 090-6538-5935 金子清敏

# ご覧ください！

## 友の会ホームページができました！

正式なURLは、<http://junosaitama.expressweb.jp/index.html> ですが、簡単に接続したい場合は、GoogleやYahooなどの検索サイト画面で **junosaitama** と入力してみてください。

<パソコンのEメールをされていない方でも、ご利用いただけます>

準備を進めてまいりました友の会ホームページをご覧くださいできるようになりました。

①友の会の目的 ②友の会の活動・特典 ③友の会の会費・会則・役員などの基本情報  
～のほか、④入会申込み ～などを掲載し、⑤会員からの連絡～なども簡単なフォーム送信形式で、できるようになっています。送られた情報は友の会のホームページ担当理事だけに送信され、プライバシーは保たれます。

また、主催行事などの友の会からのお知らせや、クラブ活動のお知らせなども掲載しています。今後は、このページから、見学会や講演会のお申込みができるように、運営体制を作ってゆく予定です。

ぜひ、ご覧いただきまして、使い勝手の悪いところなどをご指摘いただき、会員の皆さまのご利用しやすい「友の会ホームページ」に育て上げたいと思います。ご協力のほど、ヨロシクお願いいたします。

## 「連絡フォーム」で、ご意見・ご要望を！

上記のご指摘、ご意見、ご要望も、ホームページで、ご送信ください。

今後、Eメールなどでの会員どうしの連絡も行なってゆきたいと考えています。

入会申込み書にEメールアドレスを記入された方も、あらためて、このホームページの通信フォームからご連絡をお願いいたします。

☆「友の会」ホームページを、これからの、新しい通信手段として、あたたかくお育てください！！

2013年	埼玉県立歴史と民族の博物館 友の会 「日本の祭り研究クラブ」
第4回 お祭り見学会のお知らせ (参加自由)	
《祭名称及び開催場所》	第35回入間万燈まつり (入間市) 「入間市産業文化センター周辺等」
《期日》	10月 26日(土) 雨天決行
《集合》	西武池袋線「入間市駅」改札出口 午後1時00分
《費用》	★交通費・保険代(50円)・夕食費等
《持物等》	★歩き易い靴及び服装・帽子・飲物・カメラ等
<b>★祭り等の概略</b> <p>● 10/26(土)・27日(日)の2日間に開催され、「市内の社寺」で行われていたお祭り等に家内安全や健康を祈願し、その門々に『万燈・提灯等』を飾る風習があった。未来を照らす明かり、多くの人が明かりを持って集まる所に、新しい触れ合いと賑やかさが始まることを意味し、万燈祭りなる。</p> <p>入間市は第2次世界大戦後、町村合併により武蔵町となり、昭和41年町制から市制に移行「一年に一度は市民が集まるイベント」市民が参加し、行政と一体となって作り上げるお祭りです。違った角度で見物することも意義があります。</p> <p>★300以上の出店は殆どが市民グループ・市内商工会で企画。祭の特徴の一つ。</p> <p>13:30～ 佐渡民謡 15:20～ おけさ流し 16:00～ 佐渡鬼太鼓 16:00～ 子供神輿 17:15～ 入間行列 17:30～ 行列迎え太鼓・入間万燈</p>	
<b>連絡先：元木 孝 TEL：0493-54-0401</b> <b>(携帯090-2259-1673)</b>	
<b>★次回予定 12月8日(日) 鉄砲まつり：(小鹿野町)</b>	

古道探索クラブからのご案内

◎「向寒の鎌倉街道・中道を歩く」

○実施日 11月30日(土) ○集合 午前9時 埼玉高速鉄道・鳩ヶ谷駅 ○案内 伊藤徳雄さん

○参加費 資料代ほか300円 ○参加申込み 11月20日(水)までに住所・氏名・会員番号・電話番号(携帯・自宅とも)をハガキに明記し、〒339-0058 さいたま市岩槻区本丸3-8-17

犬走東道へ ○問い合わせ先 犬走東道(いぬばしり とうどう) 048-756-5634

# 特別展「狩野派と橋本雅邦」の

見

ど

こ

ろ

絵画の方は趣味もないから、ちょっと…とは、言わないでください。絵画でも特に、狩野派といえば、室町時代からの歴史を裏打ちし、彩る、大きな構成要素。室町幕府の御用絵師として活躍した狩野正信からはじまった狩野派。永徳、探幽という巨人を輩出、琳派の尾形光琳、写生の円山応挙も学ばせ、明治の、新しい日本画へと時代をつないだ橋本雅邦と狩野芳崖を最終ランナーとして生み出しました。この講座は、開催中の特別展の作品・資料についてのお話で、特に、「見どころ」を教えていただいでから見る展覧会は、きっと、充実したものとなることでしょう。

講師 浦木賢治さん (当館・学芸員)

日時 平成25年10月30日(水)

午後1時30分～3時

場所 当・博物館講堂

◎ご参加のお申込みは、通常ハガキにイベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記し、10月26日(土)までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。お申込みいただければ、ご参加いただけます。会員限定。(ご家族・お友達は参加可) ご参加無料。特別展入場希望は会員証を持参要)

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会



## 画家橋本雅邦 (はしもとがほう) の人間像

博物館 学芸員 浦木 賢治

このたびの特別展「狩野派と橋本雅邦—そして、近代日本画へ」では、そのタイトルの通り、近代日本画家の橋本雅邦を取り上げています。雅邦は、1835年、木挽町狩野家邸内で生まれ育ち、明治維新後の不遇の時をへて、東京美術学校教授に就任。横山大観や菱田春草など、次世代の日本画家を育てた人物として知られています。

特別展では、橋本雅邦が狩野派の弟子であった江戸時代から取り上げ、「近代日本画の巨匠」として再評価された晩年までの作品を展示しています。雅邦の作品には、見た人を即座にひきつける派手さこそありませんが、狩野派での厳しい修行をくぐり抜けた確かな技術と格調高い画品がみとめられます(雅邦の技術の高さについては、横山大観の日本画と比べると、よくわかると思うのですが、、、)。ぜひとも、しばし時間をかけて、じっくり雅邦作品を見ていただき、彼が描いた世界に分け入ってみてください。静謐な画面に隠された、豊かな絵画空間が広がるはずです。

さてさて、その橋本雅邦本人はというと、相当に寡黙な人物であったようです。来客に対して自ら口を開くことはなく、当時の美術界を揺るがした東京美術学校騒動の折にも、雅邦はひとり沈黙を守り、親しい人物にさえ腹をわらなかつたといわれています。教育の現場でもその寡黙さを保ち、第三者がその様子を見ると、とても冷淡な先生に映ったようです。しかしながら、当の生徒たちは、雅邦先生の内に秘めた熱情を間近で感じていたようです。

寡黙で、美術に真摯にむきあっていた雅邦は、大酒飲みとしても知られています。朝4時に起き、夜10時まで絵筆を握り、その後はきまって、ビールか葡萄酒を楽しみました。弟子たちとの宴席では、美術談義に花を咲かせたようです。

しかし、唯一の趣味といっても過言ではない飲酒のために、晩年には体調を崩し、医者から節酒を命じられました。それでもお酒をやめられない雅邦は、ビールを熱燗!?!にし、お猪口でちびりちびりと飲んだようです。ビールの熱燗!!みなさんもお試しあれ。

## 友の会トピックス

### 1.今後の友の会・博物館のイベント <あなたのカルチャセンターは友の会と博物館>

- ◎11月30日(土) 友の会・古道散策倶楽部 「向寒の鎌倉街道・中道を歩く」 次ページ参照
- ◎12月1日(日) 友の会・博物館・共催・歴史講演会『知らなかった?!「富士信仰」の謎と埼玉』  
講師 富士山文化研究会 中嶋信彰氏 1時半~3時 当館講堂 **申込み開始**
- ◎12月8日(日) 友の会・日本の祭り研究クラブ 「鉄砲祭り(小鹿野町)」 次ページ参照
- ◎12月12日(木) 友の会・プレミアム講座『埼玉の人物「鹿児島壽蔵・下総皖一」』  
講師 博物館 加藤光男氏 諸岡 勝氏 1時半~3時 当館講堂 **申込み開始**
- ◎12月14日(土) 博物館・歴史民俗講座 「美術に表された武士の姿と物語」1時半~3時 当館講堂  
講師 博物館 池田伸子氏 博物館へ電話申込み必要 048-645-8171
- ◎12月27日(金) 28日(土) 1月2日(木)~5日(日) 恒例・お正月縁起物販売市場  
博物館主催・友の会支援
- ◎1月2日(水)~2月16日(日) 博物館・企画展「圏央道の遺跡~埼玉の発掘調査 西から東から~」

### 2.友の会の会費は?

10月からは、会費は3月までの半年分として1000円となっています。ご入会していただきやすい、この時期に、お友達を友の会にお誘いいただけませんか。気のあったお友達と友の会イベントご参加されるのも粋ですよ。

なお、1月から3月までのご入会につきましては、翌年3月までの年会費2000円をいただき、即ご入会とさせていただきます。つまり、その年3月までの会費はサービスというわけです。

こちら、新入会の方にとっては、オトク!

この前、ご入会いただきました方からは、毎月送られてくる友の会ニュースで、博物館のイベントがわかるから、便利そうだねーとか、友の会の講演会もレベルの高そうなもの多くて、面白そうだねーとかのご感想をいただきました。

お知りいただきますと、その良さをご理解いただけるのですが、まだまだ、「友の会」の存在をご理解いただいていない方々も多いのです。全国紙に広告するわけにもいきませんので、ここは、会員の皆さまのクチコミに頼るしかありません。

ぜひ、新会員をふやすために、ご協力をお願いいたします。

### 3.縁起物販売へのご支援をお願いいたします

博物館の毎年初の意気込みを示す恒例行事として、お正月の2日からの「開館」があります。そして、その来館者数を増やす一助として、その年の縁起物販売があり、友の会が担当をさせていただきます。

お正月に、おうちで、のんびりできる場所を振り切ったの応援をお願いしています。縁起物販売は、買われる方に、その年の「福」をお届けするものです。「福」をお届けいただく、あなたも「福」がいっぱいになることでしょう。一日だけでも、ずっと一でも、お時間の許すかぎりのご応援をお願いいたします。

詳細は未定のため、次号の記事をご覧ください。あなたのお正月に日程を空けておいてください。

### 4.物干し竿はいらんかね?

~というほどの、相変わらずのお願いですが、サポーターとしてのお手伝いのお願いです。お手伝いの内容は、土日祭に博物館の「友の会」の受付でお聞きください。2チーム制。隔月にお手伝いいただくシステム。

**古道散策倶楽部のイベント・向塚の鎌倉街道・中道を歩く**

☆日時 11月30日(土) 9時～15時10分(予定) ☆集合 埼玉高速鉄道鳩ヶ谷駅・鳩ヶ谷消防署方面  
 出口改札(出口1) ☆コース 鳩ヶ谷駅～一里塚～氷川神社～本陣跡～郷土資料館～法性寺～昼食～地藏  
 院～源長寺～赤山陣屋跡～西福寺～戸塚安行駅(予定) ☆参加費 資料代等300円(郷土資料館は特別展  
 中で無料) ☆少雨決行(台風などの際は連絡します) ☆歩行距離 約7KM(史跡めぐりを入れると  
 約8KM) ☆歩きやすい服装・靴でご参加ください ☆鳩ヶ谷駅前にコンビニはありますが、昼食はあ  
 らかじめご用意くださるのがベター ☆保険は加入しています。体調不全の際は、主催者にご連絡ください  
 ☆倶楽部員限定ですが、ご家族・ご友人は参加可。事前にお問合せください  
 ◎問合わせ 犬走(いぬばしり) 048-756-5634 ◎参加申込みは11月22日(金)までに氏名・住所・電話  
 番号(ご自宅・携帯とも)を明記し、〒339-0058 さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道へ

2013年	埼玉県立歴史と民俗の博物館 友の会 「日本の祭り研究クラブ」
第5回 お祭り見学会のお知らせ(参加自由)	
◀祭名称及び見学箇所▶	鉄砲祭り (小鹿野町)
◀期日▶	12月8日(日) 雨天決行
◀集合▶	秩父鉄道線秩父駅改札出口午後1時 その後(車又はバスで現地へ)
◀費用▶	★交通費及び保険代(50円)等
◀持物等▶	★歩き易い靴及び服装・帽子・飲物・カメラ等
<p>★行程及び祭りの概略</p> <p>●鉄砲まつりは飯田『八幡神社』の例大祭。              ☆12月7日(土)・8日(日)に開催され、秩父路の祭りのフィナーレは、              十字砲火の中を神馬が石段を一気に駆け上がる「お立ち」の神事。              屋台歌舞伎奉演もあります。              狩りの安全、豊作祈願祭りで埼玉県無形民俗文化財指定。</p> <p>●鉄砲まつりのスケジュール              ☆1日目の7日(土)は笠鉾・屋台の曳きまわし、歌舞伎の奉納。              2日目の8日(日)は午後に屋台の歌舞伎～火縄銃演式～高張提灯～              大名行列～クライマックスは「お立ち」の神馬による              石段の駆け上がり。</p> <p>注意) 参加者は必ず元木までご連絡願います。(交通手段の兼ね合いの為)</p>	
<p>連絡先：元木 孝 TEL：0493-54-0401              (携帯090-2259-1673)</p>	

知らなかった?!

「富士信仰」の謎と

埼玉

江戸時代に「富士講」というものが流行っていたことは知っていても、富士信仰のもとを築いたという長谷川角行は知らない。信仰が広まるキッカケとなった食行身祿というヒトも知らない。彼が男女平等や相互扶助の精神を唱えたことを知らない。鳩ヶ谷出身の富士講のリーダー・小谷三志が「士に対する農工商の優位」、「男に対する女の優位」を説いたことを知らない。幕府から禁令がでていたことを知らない。

そして、この埼玉は、そういう「富士信仰」のひろがりのなかで、ひときわ光を放つ地域だったのです。

そんなお話を富士山が世界遺産（自然遺産ではなく、文化遺産＝信仰の対象と芸術の源泉＝）に決定した今年、おききするのは、なんと有意義なことではありませんか。

講師 中嶋信彰氏（富士山文化研究会）

とき 平成25年12月1日（日）

午後1時半～3時

**ご参加無料**

場所 博物館講堂（東武野田線・大宮公園駅下車5分）

☆ご参加のお申込みは往復ハガキにイベント名・住所・氏名・電話番号・会員の場合は会員番号・返信面にご自分のあて先・を明記し、11月27日（水）までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。☆定員（150）を超えた場合は、お断りすることもあります。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成25年12月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行 ☆330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

## 子持ち勾玉考

友の会サポーター 山本洋正 (春日部市)

子持ち勾玉というものをご存じでしょうか。比較的大型の勾玉の腹、背、胴などに小型の勾玉を付着させたような形をしています。単独での出土や遺構外での出土が多く、「考古学上のスフィンクス」と言われています。出土例はそう多くはなく、『集成』が刊行されていますが、全国で448個が確認されているものの記録だけのものもあり、実物資料は半数以下らしい。全国の分布状況を見ると、関東地方が全体の約31%、近畿地方が約28%で二極に集中しています。県別では群馬県が飛び抜けて多く、次が奈良県です。これらの分布状況は、石製模造品の製作遺跡分布状況と極めて似ています。この理由として、子持ち勾玉の素材が滑石製であることや工人の同一性が考えられます。石製模造品の製作遺跡出現期は5世紀中頃であり、5世紀後半の盛行期を経て、6世紀前半の衰退期を迎えると考えられています。子持ち勾玉の出現時期も同様でありました。なお、子持ち勾玉は石製模造品生産が終了した後も存続していました。

子持ち勾玉は年代により形が変化していきます。製品としての子持ち勾玉の長さに対する幅や厚さの比率を計算してみると、5世紀から7世紀へと時代が下がるにつれて、数値比率が低下しています。

簡単に言えば、最初、ずんぐりむっくりしていた形がスリムになり、最後には定規のように扁平な形になってしまったということです。原因として、製作時の省略傾向が進んだこと、製作技術の退化などが考えられます。



子持ち勾玉の使用目的は、古墳に葬られた首長霊・祖先霊を祀るため、集落内での日常生活維持のための祭、集落境界での外域から守る祭、豪族館内での祭祀、山岳信仰や生業・水運・交易の進展に伴う祭祀など、出土状況によってさまざまです。

子持ち勾玉が魂の集合体、親の勾玉から子の勾玉が飛び出す、あるいは生まれてくる世界。どんな地位の高い首長・豪族であったとしても、玉の観念を受け継ぐべく、その霊力・パワーを更に身につけずにはおられなかったのでしょう。子持ち勾玉は、特定の時期にだけ現れ一定の役割を果たしながら、最終段階には他の勾玉と大きな違いがなくなっていました。時代の流れの中に埋もれてしまったものを探すのも歴史研究の醍醐味といえます。

◎友の会・臨時総会・開催のお知らせ

このたび、次のとおり、友の会臨時総会を開催いたしますので、会員の方々のご出席をお願いいたします。

平成 25 年 12 月 10 日

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 会長 宮川 進

1. 臨時総会の開催場所・日時

(1) 場所 博物館会議室

(2) 日時 平成 26 年 1 月 19 日 (日) 午前 9 時 30 分から

(3) ご出席いただける方 当会会員 (参加申込みなどは不要です)

2. 議題

(1) 会則についての改正

以下のとおり、会則を改正する

ア. 第 7 条 (1) 正会員の特典の項目のうち、「65 歳以上の正会員については、同伴者 1 名の館 (埼玉県立歴史と民俗の博物館) の常設展・特別展の観覧料を無料とする」とあるのを削除する。

<その理由> これまで、65 歳以上の会員については、博物館の観覧料が無料であり、友の会に入会しても入館料についてのメリットがなかったため、同伴者の観覧料を無料とすることとしていましたが、平成 25 年 6 月 30 日から、65 歳以上の入館者に関する特典がなくなったため、正会員については本人の観覧料を一律、無料とするもの。

注=無料となる会員の観覧料は、当会が負担し、当会の会計から支出しています。65 歳以上の会員のご本人分と同伴者の方の分とを、当会が支出することは公平性と、資金負担に問題がある。

イ. 第 11 条 3 に「常任理事の職務」を次のとおり追加し、現行の 3「理事の職務」、4「監事の職務」、5「業務グループ」についての項目の番号を順次 4. 5. 6 と繰り下げる。

追加する項目 3「常任理事は、副会長を補佐し、会務を遂行する。副会長に事故あるとき、または欠けたるときは、その職務を代行する」

<その理由> 平成 24 年 5 月 26 日、会則を改正し、第 10 条「役員」の条項に「常任理事」をおくこととした際、職務に関する規定を定めなかったため、今回、これを明記するもの。

ウ. 上記改正はア. については平成 26 年 4 月 1 日からとし、イ. については即時とする。

(2) その他

## 友の会トピックス

### 1. 今後の友の会・博物館などのイベント <あなたのカルチャセンターは友の会と博物館>

◎12 月 12 日 (木) 友の会・プレミアム講座『埼玉の人物「鹿児島寿蔵・下総皖一」』

講師 博物館 加藤光男氏 諸岡 勝氏 1 時半～3 時 当館講堂

◎12 月 14 日 (土) 博物館・歴史民俗講座「美術に表された武士の姿と物語」 当館講堂

講師 博物館 池田伸子氏 1 時半～3 時 博物館 (048-645-8171) へ申込み要

◎12 月 26 日 (木) 友の会・お正月縁起物グッズフェア説明会 午前 10 時～ 当館講座室

<販売にお手伝いいただける方はなるべく、ご参加ください>

◎12 月 27 日 (金) ・28 日 (土) ・1 月 2 日 (木) ～5 日 (日) 縁起物グッズフェア

◎1 月 17 日 (金) 友の会、映像・祭りクラブ合同「小江戸川越七福神めぐり」 別ページ参照

◎1 月 23 日 (木) 友の会・プレミアム講座「企画展『圏央道の遺跡』について」

講師 博物館 中山浩彦氏 1 時半～3 時 当館講堂

(続く)

2014年	埼玉県立歴史と民俗の博物館 友の会 映像・祭リクラブ合同「新春健康ウォーキング」
《名称》	小江戸川越七福神巡り（参加自由）
《期日》	(2014年) 平成26年1月17日(金) 小雨決行
《申込み》	★申込みは当日受付。時間厳守でお願いします。
《集合》	東武東上線川越駅改札出口午前10時00分 (JR川越線利用者も上記の場所)
《費用》	★交通費及び保険代(50円)等（昼食は各自負担）
《持物等》	★歩き易い靴及び服装・雨具・飲物・カメラ等 (地図は用意いたします)
<b>★行程の概略</b> ● ①妙善寺（毘沙門天）⇒ ②天然寺（寿老人） ⇒ ③喜多院（大黒天）⇒ ④成田山（恵比寿天） ⇒ ⑤蓮馨寺（毘沙門天）⇒ ⑥見立寺（布袋尊） ⇒ ⑦妙昌寺（弁財天）	
<p>時の鐘・蔵の街・菓子屋横丁など小江戸の風情を楽しみながら健康増進、開運、所願成就に参詣しましょう！</p> <p>仏教・道教・日本の土着神を含んだ七福神信仰は日本独特の民俗 川越七福神巡りは、江戸時代から伝わる行事です</p>	
幹事及び 問合せ	★筑井信明（携帯090-1990-4807） ★元木 孝（携帯090-2259-1673）

### 友の会トピックス (続き)

- ◎1月25日(土) さきたま史跡の博物館主催シンポジウム「埼玉古墳群の謎」 10時～午後5時  
大宮ソニックシティホール 上記博物館へ往復ハガキにて申込み要 封入チラシ参照
- ◎2月2日(日) 友の会・講演会「シルクロードの遺跡」 当館講堂  
講師 埼玉県立自然の博物館館長 井上尚明氏 1時半～3時 別ページ参照
- ◎2月15日(土) 友の会・見学会「茨城県歴史館と水戸」 詳細・次号にて発表

◎このほか、2月にプレミアム講座と遺跡発掘見学会を予定しています。ご期待を！

# 企画展

## 圏央道の遺跡について

入間市から幸手市まで、埼玉県を東西に横断する首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の建設にともなって調査された代表的な遺跡の出土品が一堂に展示される企画展。

旧石器時代から江戸時代まで、多くの遺跡調査によって明らかとなった最新の成果が展示されます。

プレミアム講座では、その展示品についてのご説明をいただき、この調査によって、さらに解明された、新しい埼玉県の歴史についてのお話をおうかがいします。

**講演** 当館・展示担当 **中山浩彦氏**

**日時** 平成26年1月23日（木）

午後1時半～3時

**場所** 当館講堂

### ご参加無料

ご参加のお申込みは、ハガキにお名前・ご住所・イベント名・電話番号・会員番号を明記し、1月20日までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。お返事はいたしません。お申込みいただければ、ご参加いただけます。会員限定ですが、ご家族、お友達もご参加いただけます。〈このイベントのお申込みは当会ホームページから可能〉  
〈当日、講演会のあと、この企画展をご覧になる場合に備え、会員証をご持参ください〉

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会



# 年末年始・博物館お正月グッズフェアお手伝いのお願い

年の瀬もせまり、お忙しいことと存じます。

お正月の二日から、博物館は早くも開館します。それを盛り上げるイベントとして、友の会は、今回も「お正月グッズフェア」を、県内の郷土玩具や縁起物を集めて開催することといたしました。

年末年始、お忙しいとき、また、ご家族での楽しいおくつろぎのときでございますが、「博物館を応援する」、またとないときとして、多くの皆さんのお手伝いをお願いいたします。

(無料ボランティアでありますことを、ご諒解ください)

お手伝いいただけます方は、次の日程表にご参加可能日をご記入いただき、12月16日(月)までに、FAXで、お知らせください。<25日まで>

FAX=048-975-9139 宮川

なお、26日(木)午前10時から説明会を博物館講座室にて、実施いたしますので、ご都合のつく方はご出席をお願いいたします。(必須ではありません)

◎日程表 ご参加していただける日時に○をご記入ください

## グッズフェア説明会

12月26日(木) 午前10時から	
-------------------	--

## グッズフェア日程

	午前9時～午後1時	午後1時～午後4時半
12月27日(金)		
28日(土)		
1月2日(木)		
3日(金)		
4日(土)		
5日(日)		

注)

- \*各時間、3名体制で行ないます。(フェアの実施場所は博物館のロビーです。厚着にてお越しください)
- \*お申込みをいただきまして、その時間帯にお申込みが多数の場合は、調整させていただくこともありますので、お許しをお願いいたします。
- \*説明会にご参加できなかった方には、当日、ご説明いたします。

お申込みの方のお名前	ご住所	お電話番号	会員番号

# シルクロードの遺跡

東西の文化をつなぐシルクロード。そこに残る、古代からのヒトの流れ、モノの流れが織り成したロマン。

楼蘭、カシュガル、トルファン、ウルムチ～地名を聞いただけで、かの地に行ったことがなくても、こころがときめくのは、私たちにも、シルクロードの人たちの血が流れているからなのかもわかりません。

この地を何度も訪問された講師に、ご専門の考古学の立場を踏まえ、お撮りになった画像を駆使して、そのロマンをお話いただきます。

人類が、その歴史のなかで、築きあげた壮大な遺産・シルクロードのお話を、お聴き逃しになりませんようにしてください。

**講師：井上尚明氏** (埼玉県立自然の博物館館長。前・当館副館長)

**日時：平成26年2月2日(日)**

**午後1時30分～3時**

**場所：当館講堂**

(東武野田線・大宮公園駅下車5分)

**ご参加無料**

ご参加のお申込みは、往復ハガキにお名前・ご住所・イベント名・電話番号・会員の場合は会員番号を明記し、1月25日(土)までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗博物館友の会へ。☆定員(150)を超えた場合は、お断りすることがあります。

**埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会**

平成26年1月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行 ☆330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

## 「圏央道の遺跡」は、あなたのお近くの遺跡―

博物館 主任学芸員 中山 浩彦

新年あけましておめでとうございます。

正月2日から企画展「圏央道の遺跡～埼玉の発掘調査 西から東から～」が無事にオープンを迎えることができました。

圏央道は、神奈川県横浜市から千葉県木更津市までの都心から40～60kmの圏内を環状に結ぶ高速道路です。県内は、西から入間市・狭山市・日高市・川越市・鶴ヶ島市・坂戸市・川島町・桶川市・北本市・久喜市・白岡市・宮代町・幸手市の11市2町を横断し、平成26年度中の全線開通を目指し、桶川北本IC～白岡菖蒲IC、久喜白岡JCT～茨城県五霞IC間の工事が進行中です。

その圏央道路線内には、多くの埋蔵文化財包蔵地が確認されていたことから、遺跡の有無を確認するための確認調査が埼玉県教育委員会等により実施され、58か所の遺跡が存在することがわかりました。発掘調査は、用地買収が終了した日高市域で平成元年度から始まり、約四半世紀を経た平成23年度に終了しました。調査された遺跡の総面積は688,045㎡（ちなみにマスコミ等によく引用される東京ドームの面積に換算しますと、約15個分となります）で、企画展ではその内の23遺跡、旧石器時代から江戸時代までの出土品約400点を展示・紹介しています。

私が平成4年に埼玉県に学芸員として奉職し、最初に配属されたのが埼玉県埋蔵文化財調査事業団で、圏央道関係の発掘調査がまさにピークの頃でした。その当時は、自動車免許を持っていなかったため、交通便利地である伊奈町の伊奈学園に隣接する遺跡の調査を担当することになりました。事業団には通算8年間在籍しましたが、その後も圏央道の発掘調査にはあまり縁がなく、唯一調査に携わったのが川島町の堂地遺跡で、平成11年2～3月の2ヶ月間だけでした。まだ近くの用水にはメダカが泳ぐ、田園風景が色濃く残る環境の中、中世の大溝や井戸跡をひたすらスコップで掘り下げていた記憶があります。

埼玉には貝塚や古墳などの約1万1千か所以上の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が確認され、年間200件前後の発掘調査が実施されています。興味のある方は、埼玉県や各市町村のHP等で埋蔵文化財包蔵地を示した地図が公開されていますので、是非調べてみるのもいいのではないのでしょうか。意外と自分の家や買い物などに行くお店の下などの身近な場所にも遺跡が眠っていたということがあるかもしれません。

圏央道が全線開通となった暁には、今回の企画展を思い出し、道路の下に眠る歴史に想いを寄せながら、西から東からドライブしてみるのはいかがでしょうか。「圏央道の遺跡」展を通して、遺跡や発掘調査といった埋蔵文化財に関心を持っていただければ幸いです。

## 友の会トピックス

### 1.今後の友の会・博物館などのイベント <あなたのカルチャセンターは友の会と博物館>

- ◎1月17日(金) 友の会・映像クラブ、お祭りクラブ合同「新春健康ウォーキング」(JUNO前号に詳細)  
～小江戸川越七福神巡り～ 東上線川越駅改札出口 午前10時集合 申込み当日 昼食  
各自 費用=交通費と保険代(50円)など ご参加はクラブ員でなくても可  
問合わせ=筑井信明(090-1990-4807)・元木 孝(090-2259-1673)
- ◎1月19日(日) 友の会臨時総会 「当会の規約改正」について  
～当会の規約第7条を改正し、「65歳以上の会員について、本人の博物館観覧料を無料とし、これまで無料であった同伴者1名の観覧料優遇措置は取りやめる」ことへの賛否。  
昨年6月30日から、65歳以上の入館者が有料となり、これを会員は会員証提示により無料とすることとするが、同伴者についての優遇措置は廃止しようとするもの。
- ◎1月23日(木) 友の会プレミアム講座「企画展『圏央道の遺跡』について」  
講師 当館 中山浩彦氏 1時半～3時 当館講堂 (JUNO前号に詳細)  
ハガキによる申込み要
- ◎2月2日(日) 友の会・博物館共催講演会「シルクロードの遺跡」  
講師 埼玉県立自然の博物館館長 井上尚明氏 1時半～3時 当館講堂 (JUNO前号に詳細)  
ハガキによる申込み要
- ◎2月13日(木) 友の会プレミアム講座「美術館では聞けない美術館のおハナシ」  
講師 埼玉県立近代美術館 大浦 周氏 1時半～3時 当館講堂 (JUNO本号に詳細)  
ハガキによる申込み要
- ◎2月14日(金) 友の会・お祭りクラブ「鷲宮催馬楽神楽・見学会」 (JUNO本号に詳細)  
東武スカイツリー線・鷲宮駅改札出口 午前9時45分集合  
問合わせ=元木 孝(090-2259-1673 0493-54-0401)
- ◎2月15日(土) 友の会見学会「御三家水戸藩・茨城県立歴史館」 (JUNO本号に詳細)  
大宮駅西口・ソニックビル西側 8時集合 参加費6000円 ハガキによる申込み要

### 2.友の会会員ご継続のお願い

友の会の「年度」切り替え時期は毎年3月末です。おかげさまで、会員数500名を達成させていただいたのは、昨年3月末でした。その折にご在籍いただきました皆さまにお礼を申し上げますとともに、ぜひ、今度の3月末までのご更新をよろしくお願い申し上げます。友の会で基盤となる「会員数500名」を達成させていただき、新しく「プレミアム講座」や「クラブ活動」という新しい事業も含めて、さらに友の会の発展を期しております。ぜひ、更なる、厚いご支援を賜りますよう、お願いを申し上げます。

### 3.お友達、ご家族を友の会にお誘いください

ほとんどの博物館には、「友の会」があると思います。そのなかでひと味違うのは、この「友の会」です。他の「友の会」は博物館の事業の一部として、博物館で運営されています。しかし、この会は「会員」により運営されています。博物館を応援するために集まった人たちの団体です。これこそ、本当の意味の「友の会」です。それだけに、一人でも多くの仲間が必要なのは、博物館運営の「友の会」よりも切実です。ぜひ、同好のお友達、ご家族を「友の会」へお誘いください。そして、友の会のさまざまなイベントを、共に楽しみください。ご入会いただくのも、3月までの会費が実質無料の「いま」がオトクとなっています。

ほのかな梅の香をもとめて水戸の旅！

# 御三家 水戸藩 ・ 茨城県立 歴史館

- 水戸黄門でおなじみの徳川光圀が隠居した西山荘や偕楽園  
など徳川御三家の栄華
- 尊王攘夷の先駆け水戸天狗党の悲劇
- シリーズ「県立博物館巡り」の最後を飾る茨城県立歴史館など、  
梅見にはちょっぴり早い水戸を巡ります。

常陸太田市 佐竹氏の祈願所・佐竹寺＝光圀公隠居地・西山荘＝  
水戸市 天狗党ゆかりの回転神社＝偕楽園（当日、偕楽園駐車場が混雑す  
る場合は見学コースの変更もあります）＝茨城県立歴史館特別展「常陸南北朝史」

日 時 平成26年2月15日（土）

集 合 午前8時（時間厳守ください）

JR大宮駅西口・大宮ソニックビル西側

参加費 6,000円（ご昼食は刺身定食）

ご参加のお申し込みは

★往復はがきに見学会名・住所・氏名・会員番号・電話番号（携帯電話）を  
明記、〒338—0001 さいたま市中央区上落合9-11-25-306 西本豊司へ

★2月8日（土）までにお申し込みください★定員45名（満員次第締切となります）

★会員限定ですが、ご家族、お友達のご参加できます。

★70歳以上の方は県立歴史館等入場無料となりますので「70歳（以上）」とハガキに  
明記願います。★座席・集合場所地図などのご希望はハガキに明記願います。

★当日連絡先 090-4965-8275 齊藤文孝まで

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

2014年	埼玉県立歴史と民俗の博物館 友の会 「日本の祭り研究クラブ」
第6回 お祭り見学会のお知らせ (参加自由)	
《名称及び開催場所》	わしのみや さいばら かぐら 鷲宮催馬楽神楽 (鷲宮町鷲宮神社)
《期日》	2月 14日(金) 雨天決行
《集合》	東武伊勢崎線「鷲宮駅」改札出口午前9時45分
《行程》	鷲宮駅 ⇒ 鷲宮町立郷土資料館 ⇒ 鷲宮神社
《費用》	★交通費・保険代(50円)等 (昼食各自用意)
《持物等》	★暖かい服装・飲物・カメラ等 (現地椅子用意あり)
<p>★鷲宮催馬楽神楽の概略 (演目予定時間帯11:00~15:00)</p> <p style="text-align: center;"><small>は じいちりゅうさいばらかぐら</small></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正式名称は土師一流催馬楽神楽と呼びます。土師一流とは、鷲宮神社がかつて土師宮<small>(はじのみや)</small>と呼ばれていたとする説に準じています。また、催馬楽とは平安時代の歌謡の一種で、神楽奏演中に催馬楽が翻われることに特徴があります。</li> <li>■ 鷲宮神社の神楽の歴史は県内でも一番古く、鎌倉時代の建長3年(1251)に行われていたことが鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」に記されています。(しかし、この時の神楽は催馬楽神楽とは異なる種類であると考えられています)</li> <li>● 現在に伝わる催馬楽神楽は、宝永年間(1704~11)より以前、大宮司・大内国久が従来からの神楽を再編し、12座の神楽として作り上げたとされている。</li> <li>■ 江戸~明治時代にかけて盛んにおこなわれていたが、徐々に神楽師の数が減り、昭和20年代には白石園蔵氏ただ一人となってしまいます。白石氏は町の若者に神楽を教え、神楽を消滅の危機から救う。 昭和51年に国の重要無形民俗文化財指定となる。</li> <li>● 鷲宮神社は徳川家康からは400石という、寺社としては破格の領地を寄進される。</li> <li>■ 江戸の盟神楽を始め、関東の神楽の源流であると言われていています。舞踏的要素が強く、演劇的要素は殆ど見られない。 一曲一座形式の神楽で、基本となる12座の他に3座あり、計15座を数える。 12座の中に一人舞の座は殆どなく、2人以上で舞う連舞が多い。楽器は小太鼓・大太鼓・大拍子・笛の4種類で神楽殿舞台奥に1列に並んでいます。</li> </ul>	
連絡先：元木 孝 TEL：0493-54-0401 (携帯090-2259-1673)	
★次回予定：未定	

# シルクロードの遺跡

東西の文化をつなぐシルクロード。そこに残る、古代からのヒトの流れ、モノの流れが織り成したロマン。

楼蘭、カシュガル、トルファン、ウルムチ～地名を聞いただけで、かの地に行ったことがなくても、こころがときめくのは、私たちにも、シルクロードの人たちの血が流れているからなのかも知れません。

この地を何度も訪問された講師に、ご専門の考古学の立場を踏まえ、お撮りになった画像を駆使して、そのロマンをお話いただきます。

人類が、その歴史のなかで、築きあげた壮大な遺産・シルクロードのお話を、お聴き逃しになりませんようにしてください。

**講師：井上尚明氏** (埼玉県立自然の博物館館長。前・当館副館長)

**日時：平成26年2月2日(日)**

**午後1時30分～3時**

**場所：当館講堂**

(東武野田線・大宮公園駅下車5分)

**ご参加無料**

ご参加のお申込みは、往復ハガキにお名前・ご住所・イベント名・電話番号・会員の場合は会員番号を明記し、1月25日(土)までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗博物館友の会へ。☆定員(150)を超えた場合は、お断りすることがあります。

**埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会**

# 美術館では聞けない 美術館のおハナシ

今回、北浦和の県立近代美術館が改装工事のため、同館所蔵の名画が「風光彩美 埼玉・四季の輝き」として当館で公開中。これに合わせ、同館のコレクションについてのおハナシを、おうかがいできることになりました。近代美術館の「通(ツウ)」になれる、何か、楽しいお話になりそうな予感が～

お話：大浦 周 (いたる) さん

＝埼玉県立近代美術館・学芸員＝

テーマ：近代美術館のコレクションについて

場所：当館講堂

と き：平成26年2月13日(木) 午後1時半～3時

☆ご参加のお申込みは、ハガキにお名前・ご住所・イベント名・電話番号・会員番号を明記し、2月8日(土)までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。お返事はいたしません。お申込みになれば、ご参加いただけます。会員限定ですが、ご家族、お友達のご参加いただけます。<このイベントのお申込みは当会ホームページからも可能>

☆当日は、ぜひ、当会の会員証で2月16日(日)まで開催の「企画展・圏央道の遺跡」についても、ご覧ください

**埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会**



平成26年2月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行 ☆330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

## 博物館のホスピタリティ

会長 宮川 進

先に開催された県議会本会議において、ある議員から「県立近代美術館の更なるホスピタリティの向上について」という一般質問がありました。

ホスピタリティとは何なのでしょう。昨年の流行語にもなった例の「お・も・て・な・し」とも、単なる「サービス」とも違う「業務上のサービス」とでもいう意味なのでしょう。

質問では具体的な項目として、次のようなものがあげられています。

①美術館の夜間開館 ②移動美術館の開催 ③ニーズの把握 ④美術館のPR

そして、質問の最後は「博物館等、県内各施設では、どのように取り組むのか」となっていて、これには近代美術館だけの問題ではない～という意味がこめられているようです。

その際の理事者（県）側の答弁は、「それについては、何々をしております」ということで、格別、目新しいものはありませんでしたが、上記の質問の①美術館の夜間開館 ②移動美術館の開催～は、観覧者である県民への「観覧しやすい機会をふやす」ことであり、③ニーズの把握～は、観覧者がこれから、さらに利用するには何をしてほしいかという希望を把握し、それに沿って業務を展開するという、④美術館のPR～は観覧者の便宜のために、より活発に情報発信をすべきである～ということだと思われま

す。大きな問題は、このような具体的なポイントは別として、博物館（もちろん博物館、美術館を含めた問題ですが、とりあえず、代表して「博物館」とします）の職員の方や県の理事者サイドが、博物館のような知的な施設における「ホスピタリティ」とは何か～について共通の認識をもっておられるか、ということだろうと思われま

す。以前からの「博物館」の概念としては「博物館とは、ホスピタリティが必要なサービス機関などという浅はかなものでは決してありませんよ」ということになるでしょうが、観覧者なしの博物館はありえません。とすれば、観覧者を出来るだけ多くすることや、観覧者のニーズに答え、その便利をはかるというホスピタリティが博物館にも必要である～ということになります。その点で一枚岩でおられるのでしょうか。

博物館というものは、しょせんは「ハコモノ」であり、「ハコ」と、「展示物の良し悪し」によっているので、ホスピタリティなどというソフトによるところは少ない。ホスピタリティなどといわずに、「ハコと展示費用の予算をくれるのが先だ」というようなお考えの方はおられないでしょうか。

いま、重要なのは、博物館サイドが「まず、県民のためにホスピタリティが必要であり、それに向けて努力するのだ」という共通認識をもって、その運営をはかれることではないかと思ひます。

それができれば、旭山動物園、板橋区立美術館などの成功事例のように、観覧者がふえます。そして、観覧者がふえれば、「やはり、博物館は県民のために必要な施設である」という強い認識が県民に植え付けられること、マチガイありません。

職員の方の「やり甲斐」も、大きくなることでしょ

う。県議会での質問は、まず、「近代美術館の職員の方々は、県民へのホスピタリティという気持を持っておられますか～」というところから始められるべきでした。

次の質問が博物館に向けられる前に、ホスピタリティのさらなる前進がみられますように～

## 友の会トピックス

### 1.今後の友の会・博物館などのイベント <こころよい知的刺激は友の会と博物館>

- ◎2月13日(木) 友の会プレミアム講座「美術館では聞けない美術館のおハナシ」  
講師 埼玉県立近代美術館 大浦 周氏 1時半～3時 当館講堂 <当日参加可>
- ◎2月14日(金) 友の会・お祭りクラブ「鷲宮催馬楽神楽・見学会」  
東武スカイツリー線・鷲宮駅改札出口 午前9時45分集合  
問合わせ=元木 孝 (090-2259-1673 0493-54-0401) <当日参加可>
- 3月9日(日) 友の会・博物館・共催講演会「古気候学からみた最近の気象変動」(仮題)  
講師 東京大学大学院教授 多田隆治氏 1時半～3時 当館講堂 <今号詳報>
- ◎3月21日(金・祭)～博物館特別展「屋根裏部屋の博物館」開催  
=渋沢栄一の後継者・渋沢敬三は優れた民俗学者という別の顔があった。この展覧会は敬三の学術的な功績を紹介するものです。～5月6日(火・休)まで。
- ◎4月17日(木) 友の会・見学会「八潮市・大経寺・県内最大の円空仏など」  
6年に一度の大経寺・円空仏ご開帳を、みんなで拝観させていただきに参りましょう。  
詳細未定 3月10日号にて詳細発表予定
- ◎4月27日(日) 友の会・博物館・共催講演会「邪馬台国関連」 詳細未定  
講師 東京大学教授 設楽博己氏 1時半～3時 当館講堂

\*お断り 毎年、お楽しみをいただいております発掘現場見学会は、今年度は適当な現場がなく、中止させていただきます。ご了承ください。

### 2.友の会会員ご継続のお手続きを、よろしくお願い申し上げます

おかげさまで、会員数500名の大台を超えた友の会。ぜひ、これからもご協力をよろしくお願いを申し上げます。まずは、会員ご継続のお手続きをお願い申し上げます。

同封の振替用紙で、または土・日・祭に、博物館の友の会受付にて、お手続きくださるよう、お願いいたします。

なお、振替にてご送金の場合、新しい会員証は次回の友の会ニュースお送りの際に同封させていただきます。多少のお時間がかかりますので、お許しをお願いいたします。

### 3.お友達、ご家族を友の会にお誘いください

ことし、現役から退かれた方、「何もすることがなくて～」とか、「何をしてもいいか、わからなくて～」とかで悩んでおられる方は、あなたのまわりにおられませんか？

そんな方を友の会にお誘いください。

友の会は、埼玉県内で知的なイベントの数とレベルの高さを誇っています。～かといって、難しいものではありません。みんなで楽しみましょう～というのが、その心意気です。

また、それをお一人ではなく、お知り合いとお楽しみいただくのであれば、こんな良いことはありません。

ぜひ、友の会を、お仲間でお楽しみください。

### 4.みんなのために、ボランティアをー

友の会の受付、発送、その他のお手伝いをしていただける方を求めています。詳細は友の会受付(土日祭)へ。

65歳以上の会員の方の特典がかわりました。

当会会員証の提示で、ご本人の博物館の観覧料は無料  
同伴者の観覧料は有料となります。

### 友の会・クラブからのお知らせ

#### ◎古道探索倶楽部

○「第5回鎌倉古道を訪ねて～東川口から笹久保～」

日時 平成26年3月29日(土) 9時～15時(予定)

集合 9時 JR東川口駅 北口

コース 東川口駅—貝殻坂—大門宿本陣・脇本陣—大門神社—五才川橋—神明宮—尾ヶ崎—善念寺—和戸  
郵便局バス停解散 (岩槻方面 15:11)

参加費 資料代等 300円

その他 少雨決行(雨天候時には、連絡します)

歩行距離は約8KMで、史跡めぐりをいれると約9KMです

歩きやすい服装・靴でご参加ください

昼食はあらかじめ用意してください

保険には加入しています

体調が悪くなった方は倶楽部担当者にお知らせください

問合せ先 犬走(いぬばしり) TEL048-756-5634

参加申込み 3月21日(金)までに、ハガキに住所・氏名・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)  
を明記して 〒339-0058 さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道へ。

#### ◎日本の祭り研究クラブ

○「第6回お祭り見学会」

日時 平成26年2月14日(金)

集合 9時45分 東武スカイツリー線・鷲宮駅 改札出口

コース 鷲宮駅—鷲宮郷土資料館—鷲宮神社

参加費 保険料 50円

その他 暖かい服装・飲み物など

昼食は各自

問合せ先 元木(もとぎ) TEL0493-54-0401(携帯090-2259-1673)

参加申込み 不要

○3月、4月は行事はありません。次は5月の予定

#### ◎映像クラブ

○3月29日から「日光御成り道シリーズ」の撮影を開始します。

問合せ先 筑井 TEL・携帯090-1990-4807

友の会ホームページ <http://junosaitama.expressweb.jp/> または **JUNOSAITAMA** で検索ください

# 古気候学からみた 最近の気象変動

(仮題)

最近の気象について、「ちょっとおかしいな」と思われませんか。  
これはシロウトの感覚であって、ホントはそんなことはないのか？  
「おかしい」とすれば、原因は何なのか？  
古気候学というモノサシを最近の気象にあてて見ると、どういうことがわかるのでしょうか。  
安心していいのか。  
やっぱり、心配しないといけないのか。  
人類の将来を考えると、これは聞き逃すわけにはゆきません。

講師 多田隆治先生（東京大学大学院教授）

とき 平成26年3月9日（日）

午後1時30分～3時

ところ 博物館講堂 <東武野田線・大宮公園駅・徒歩5分>

**ご参加無料**

ご参加のお申込みは、往復ハガキに住所・氏名・会員の場合は会員番号・電話番号を明記し、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。

お手数ながら、返信面にも住所・氏名のご記入をお願いいたします。

定員150名。先着順とさせていただきます。

**埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会**

平成26年3月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行 ☆330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

## 屋根裏部屋の博物館へようこそ！

学芸員 佐藤美弥

「屋根裏部屋の博物館 -Attic Museum-」。どこかわくわくする響きではないでしょうか。「Attic Museum アチックミュージアム」というのは英語で屋根裏部屋の博物館という意味です。このアチックミュージアムの主人は渋沢敏三（しぶさわけいぞう 1896-1963）という人。埼玉県にお住まいの方であれば、渋沢の名前を聞けば、日本近代経済の父と呼ばれる、榛澤郡血洗島村（現深谷市）出身の渋沢栄一の名前を思い出す方もいるでしょう。敏三はその栄一のお孫さんで、栄一の後継者となった人です。今回の特別展では、渋沢敏三が自邸に開設したアチックミュージアムで収集した様々な生活用具などのコレクションを展示し、あわせてその生涯や、埼玉県との関わりを紹介します。

敏三は幼少の頃から、生物や鉱物の標本、郷土玩具などに興味をもち、友人たちとコレクションしていました。将来は生物学者になることを夢みていましたが、敏三には経済界で重要な位置を占める、渋沢家の嫡孫としての立場がありました。銀行家から始まり、のちには大蔵大臣を務めるという経済人としての道を歩む一方、敏三は小さな頃からの夢を発展させ、自邸の屋根裏にアチックミュージアムを開設します。

敏三はアチックミュージアムを拠点に様々な研究をし、また多くの研究者を惜しみなく支援し、育てました。敏三や仲間たちが収集した資料は国に寄贈され、現在大阪の万博記念公園にある国立民族学博物館（みんぱく）のコレクションの母体となりました。またアチックミュージアムは現在、神奈川大学日本常民文化研究所となっています。渋沢敏三は戦前・戦後期の重要な経済人であると同時に、日本の民俗学や民族学を育てた研究者・文化人でもあったのです。

特別展では、みんぱくからやってくる、敏三や彼の仲間たちが全国各地で収集した珠玉のコレクションをじっくりご覧ください。アチックミュージアムに集った人々の学問にかける情熱の片鱗を感じとることができるのではないのでしょうか。また、栄一や敏三がたびたび観覧した血洗島の獅子舞や、埼玉県内で収集されたコレクションなど、敏三の学問と埼玉県との意外なつながりも発見できることと思います。

屋根裏部屋の博物館の扉が開くまであとわずか！ みなさまのお越しを心からお待ちしております。

## 1.お礼とお願い

○会員の年度お切り替え有難うございました。振替で切り替えをしていただきました方などに、新会員証を同封させていただきました。ご査収ください。なお、お振込みが直近の方につきましては、今回、同封させていただけなかった場合もございます。お手数ですが、郵便局の受領書をご保存くださいますようお願いいたします。

○新年度を前に、友の会のお手伝いをしていただく方が足りなくなっております。月に半日だけのお手伝いでも結構です。「みんなの友の会」のために、ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。土日祭に「友の会」の受付担当者に、仕事の内容などをお尋ねいただき、無理のないサポートの仲間にお入りください。

## 2.今後の友の会・博物館などのイベント <あなたのカルチャセンターは「友の会」と「博物館」>

- 3月21日(金・祭) 特別展「屋根裏部屋の博物館」開催 5月6日(火・祭)まで
- 3月30日(日) 友の会・見学会「春うらら水戸の旅」 Aグループ企画・実施 <本号に詳細>
- 4月17日(木) 友の会・見学会「県内最大の円空仏を拝む」  
高さ2.43mの円空仏って想像できますか。そして、6年に一度のご開帳！ちょっと不便な八潮市。このツアーでないと、なかなかお訪ねは難しいです。  
Aグループ企画・実施 <本号に詳細>
- 4月27日(日) 友の会・博物館共催講演会「考古学で決めた！邪馬台国」  
講師・東京大学教授 設楽博己先生 <次号に詳細>
- 5月下旬 友の会・博物館共催講演会 テーマは古代史関連 詳細未定

\*参加お申込みは「JUNO」に詳細が掲載されてからにお願いします。それ以前のお申込みは無効とさせていただきます。お席は十分にご用意いたします。抜け駆けは、お互いにご遠慮ください。

## 3.友の会・クラブ活動のお知らせ

### ◎古道散策倶楽部

- 3月29日(土) 第5回「鎌倉街道を訪ねて＝東川口～笹久保＝」 集合：9時・東川口駅北口  
東川口駅—貝殻坂—大門宿本陣・脇本陣—尾が崎—和戸郵便局バス停解散  
(15時) 参加費：資料代等300円 少雨決行 歩行距離：約9km  
昼食各自用意 歩きやすい服装・靴 申込み：3月21日(金)までにハガキに住  
所・氏名・電話番号(携帯・固定ともに)記入 〒339-0058 さいたま市岩槻区本  
丸3-8-17 犬走東道へ 問合わせ 048-756-5634 犬走(いぬばしり)

### ◎映像・写真クラブ

- 4月25日(金) 第1回「大江戸名所百景」を歩く 集合：10時・王子駅中央口  
歌川広重の浮世絵「大江戸名所百景」で描かれた実際の場所を探す。<次号に詳細>  
申込み：FAX 048-470-2758 筑井(つくい) HPも参照 問合わせ 090-1990-4807

### ◎日本のお祭り研究クラブ

- 5月3日(土) 「春日部大風祭り」 集合：10時30分・春日部駅東口  
<次号に詳細> 問合わせ 0493-54-0401 携帯 090-2259-1673 元木(もとぎ)  
駅からバスで会場へ。昼食各自用意。大風上げは12時30分ころから～

常磐道の雪も消え

# 春うらら水戸の旅

水戸黄門西山荘・天狗党の悲劇・茨城県立歴史館

2月15日は記録的な大雪のため、水戸見学会は中止となり、参加者の皆さまには多大のご迷惑をおかけしました。でも、友の会はへこたれません。今一度、水戸へ旅立ちます♪ “梅は咲い～たか、桜はまだ～か” ♪ 梅まつり最後の日曜日、偕楽園に参るぞ～～

◎常陸太田市 佐竹氏の祈願所・佐竹寺＝光圀公隠居地・西山荘＝  
◎水戸市 天狗党ゆかりの回轉神社＝偕楽園＝茨城県立歴史館

日時 平成26年3月30日(日)

集合 午前8時(時間厳守願います)

JR大宮駅西口・大宮ソニックビル西側

参加費 6,000円(御昼食は那珂湊直送のお刺身定食)

ご参加のお申し込みは

★往復はがきに見学会名・住所・氏名・会員番号・電話番号(携帯電話)・  
を明記、〒338-0001 さいたま市中央区上落合9-11-25-306 西本豊司へ

★3月22日必着でお願いします。★定員45名(満員次第締切となります)

★会員限定ですが、ご家族、お友達はご参加できます。

★70歳以上の方は県立歴史館など入場無料となりますので「70歳(以上)」とハガキに明記願います。★座席・集合場所地図などのご希望はハガキに明記願います。

★お問い合わせ・当日連絡先 090-9684-1035 西本豊司

090-4965-8275 齊藤文孝まで

～門外不出・六年に一度の御開帳＝大経寺千手観音像～

# 県内最大の円空仏拝観！

八潮・越谷の円空仏も、すべて拝観できるチャンス

埼玉県最大の2m43cmもある大経寺の千手観音立像。六年に一度の御開帳で、この円空仏を地元の方の心のこもった御接待を受けて拝観します。あわせて八潮・越谷の円空仏を全部観てしまおうという欲ばりツアーです。この機会をお見逃しなく！

- 専稱寺 円空仏 愛染明王坐像・平安仏 聖観音菩薩像
- 大経寺 円空仏 千手観音立像 ●八潮市資料館
- 弘福院 円空仏 釈迦如来坐像
- 西福院 円空仏 不動明王像、二童子像
- 安国寺 円空仏 楊柳観音菩薩、善財童子立像、護法童子立像

日時 平成26年4月17日(木)

集合 ☆午前8時(時間厳守願います)

JR大宮駅西口・大宮ソニックビル西側

☆午前9時 JR南越谷駅前・りそな銀行周辺

参加費 6,000円(昼食・拝観お礼含む)

ご参加のお申し込みは

★往復はがきに見学会名・住所・氏名・会員番号・電話番号(携帯電話)・を明記、〒337-0042 さいたま市見沼区南中野 1183-10 齊藤文孝へ

★4月5日必着★定員45名(満員次第締切となります)★会員限定ですが、ご家族、お友達はご参加できます。★南越谷駅で乗車ご希望の方、並びに座席・集合場所地図などのご希望はハガキに明記ください。

★お問い合わせ・当日連絡先 090-4965-8275 齊藤文孝まで